

令和2年度NPO活動推進補助金 活動報告書

事業名	持続可能な地域活動に向けてのWEB会議ツール導入支援事業
団体名	ドネルモ
法人設立年月	2006年4月
団体の目的	本法人は、超高齢社会の状況を見据えた上で、他者の存在や関わりを通じて1人ひとりの可能性がかたちになるような関係やしきみを生み出しながら、自分たちの暮らしを自分たちで作っていかうとする文化を育むことを目的とする。
主な活動	(1) 超高齢社会を担う人材及び団体の育成・支援事業 (2) 超高齢化に対応した社会のしくみづくりに関する事業 (3) 超高齢社会に関する調査研究および啓発事業
補助事業の概要	<p>I 背景</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日常的にインターネットに接する機会が少ないシニア層や、自治協議会などを中心とした様々な地域活動団体が活動を制限されており、孤立化や活動の停滞を余儀なくされてきた。その一方で、こうした状況下においても、WEB会議ツールなどを活用している地域団体も存在するものの、まだ少数に留まっている。地域活動及び地域活動団体のWEB会議ツールに関するリテラシーの向上とその活用は、住民自治や地域活動、相互の交流・関係性の維持のためにも不可欠であると考え。さらに、新型コロナウイルス感染拡大に関わらず、WEB会議ツールに関するリテラシーの向上とその活用の広がり、地域活動団体にとっても、既存の課題（担い手不足、若年層の参加の停滞等）への改善にもつながり、より深刻な災害などが発生した場合の自助・共助の取り組みについても寄与するものと考え。</p> <p>II 事業内容</p> <p>以下の取り組みを実施した。</p> <p>1 WEB会議ツールの体験会の実施</p> <p>「地域活動オンラインプラス『web会議ツール研修講座 入門編』」</p> <p>実施日時：①7月28日 ②7月30日 ③8月1日 計3回</p> <p>対象者：地域活動をされている方</p> <p>（校区自治協議会及び各種団体、自治会・町内会、公民館職員、行政職員、ボランティア団体等）</p> <p>参加者数：①12名 ②16名 ③15名 計43名</p> <p>開催形式：WEB会議ツール「ZOOM」を使用</p> <p>参加費：無料</p> <p>内容：「ZOOMを体験したい」「ZOOMを少し使ったことはあるが慣れていない」という方を対象に、ZOOMの体験会を実施した。</p>

2 WEB 会議ツールを活用した会議や交流会の開催に向けた研修・相談会の実施

「地域活動オンラインプラス『web 会議ツール研修講座 活用編』」

実施日時：①8月8日 ②8月22日 計2回

対象者：地域活動をされている方

(校区自治協議会及び各種団体、自治会・町内会、公民館職員、行政職員、ボランティア団体等)

参加者数：①21名 ②29名 計50名

開催形式：WEB 会議ツール「ZOOM」を使用

参加費：無料

内容：

「WEB 会議ツールの活用の仕方を知りたい」「ZOOM での話し合いのやり方を体験したい」という方を対象に、ゲスト講師による WEB 会議ツールを使用した地域活動の先進事例紹介と、ツールの導入や使用した場合の運営のポイントなどの説明をしてもらった。後半では、話し合いのやり方のポイントを説明し、「自分の活動の中でオンラインを取り入れられそうなことは?」「それを実施するにあたってのハードルは?」というテーマでグループワークを行い、相談コーナーでは講師も交え質疑応答を行った。

3 WEB 会議ツールを活用した既存の地域活動を代替・補完を目的としたモデル活動の実施の支援

内容：実際に WEB 会議ツールを活用して実践を行いたい3 団体に対し、会議や事業実施までの支援を行った。

①中央区男女共同参画連絡会

②香陵公民館(東区)

③香椎浜校区自治協議会(東区)

4 リーフレット(報告書)作成

今後、新型コロナウイルス感染症が再流行又は拡大した際でも、地域活動が継続できるよう、本事業の成果及びオンライン活用に向けた事例紹介とポイントをまとめた報告書をリーフレットにし、市内公民館等への配布を実施した。

Ⅲ 成果及び展望

本事業は WEB 会議ツールを導入した持続可能な地域活動への支援として一定の効果があつたと言える。具体的には、WEB 会議ツールの活用を通して、オンラインに関するリテラシーが向上され、その活用に向けて取組んでいきたいという意欲の広がりが見られた。

「WEB 会議ツール研修講座 入門編」では、講座後のアンケートによると、参加者の 97.7%が「本講座によって、WEB 会議ツール活用に関する理解や関心は高まった・やや高まった」と答え、参加者のうち 77.3%が「今後、地域でも WEB 会議ツールを活用し、会議や地域イベント等を開催してみたい」と答えた。また、「WEB 会議ツール研修講座 活用編」では、受付開始からすぐに定員を上回る申し込みがあり、定員を増席した。講座の中では、機材やネット環境の整備について等、

具体的な WEB 会議ツール導入にむけての質問が多く出ており、参加者が WEB 会議ツールを体験することで、活用に向けての興味や意欲への向上へと移行している様子が伺えた。

「WEB 会議ツールを活用した既存の地域活動を代替・補完を目的としたモデル活動の実施支援」では、それぞれの地域において重要な役割を担う 3 種の団体が、主催者として WEB 会議ツールの活用に取り組んだ。今回の 3 団体が WEB 会議ツールを活用する事で、他の地域団体に対して助言を与えたり、会議や事業実施の支援を行ったり等、今後は団体自らが支援を行うことが可能となり、地域活動が停滞しないようオンラインの活用の広まりが期待でき、その知見・活用法が広がる事が見込まれ、波及効果が期待できる。

本事業のプログラム実施後、事業への参加者のうち 70%が、ドネルモの講座を受講後、所属している団体に WEB 会議ツールを活用していることがわかった。当初課題としてあげていた新型コロナウイルスの感染拡大に伴う地域活動の停滞は、WEB 会議ツールを活用することで改善がみられたといえる。本事業は持続可能な地域活動に向け、WEB 会議ツール活用に関するリテラシー向上とその活用の広がりにおいて有効であったと言える。

補足 (1) 上記項目を満たしていれば、本様式以外を使用しても構いません。別紙記載例を参照してください。パワーポイント等で作成される場合は、10 ページ以内とします。

(2) 活動写真を 2、3 枚程度添付してください。

(3) この報告書は、市ホームページに掲載するとともに、寄付者に送付している活動報告書を作成する際に活用させていただきます。